

2025年5月10日
株式会社UPDATER

5月10日は「地質の日」！ みんな大地が選ぶ「すごすぎ土壌6選」発表！ 396億円相当！？驚きの事例も登場。土壌診断の「みんな大地」

社会課題をおもしろく解決する企業、株式会社UPDATER(所在地:東京都世田谷区、代表取締役:大石英司)が展開する「みんな大地」では、これまでに全国127カ所の土壌調査を実施し、その結果の一部はWEBで公開しています。

このたび、5月10日の「地質の日」に合わせ、土壌の奥深さを多くの方に知っていただくため、担当者が選ぶ「すごすぎ土壌6選」を発表いたしました。
地球上の生物種のおよそ6割は、目に見えない地下の世界に住んでいます。彼らは、地球や私たちの食と農が、未来に渡って豊かであり続けるために不可欠な働きをしています。そんな、「土壌ワクワク体験」を地質の日にお届けします。



みんな大地とは

みんな大地[®]

Powered by **UPDATER, Inc.**

「みんな大地」は、農地や森林、再生可能エネルギーの発電所や企業の緑地等を対象に、脱炭素や生物多様性等の「地球環境への貢献度」を可視化し、生産物や不動産に新たな付加価値を付けることで、土壤再生に向けた社会全体の行動変容を促す事業です。具体的には、有機物量やバクテリア数、DNA解析などを組み合わせた独自の土壤診断や、地上・土中の動植物調査による土地評価、その結果を活用したアドバイス、コンサルティング、ソリューション提供を行っています。

■みんな大地事業概要

事業名：みんな大地

事業開始：2021年10月

サービス内容：土壤診断、生物多様性調査、自然共生サイト申請、診断や調査の結果を活用したPR支援、食と農分野での健康経営サポート等

URL：<https://daichi.minden.co.jp/shindan/>

担当者が選ぶ！すごすぎ土壌6選

1. 396億円相当！？奇跡の土壌

(神奈川県相模原市・abiofarm・土壌採取日 2024/11/18)

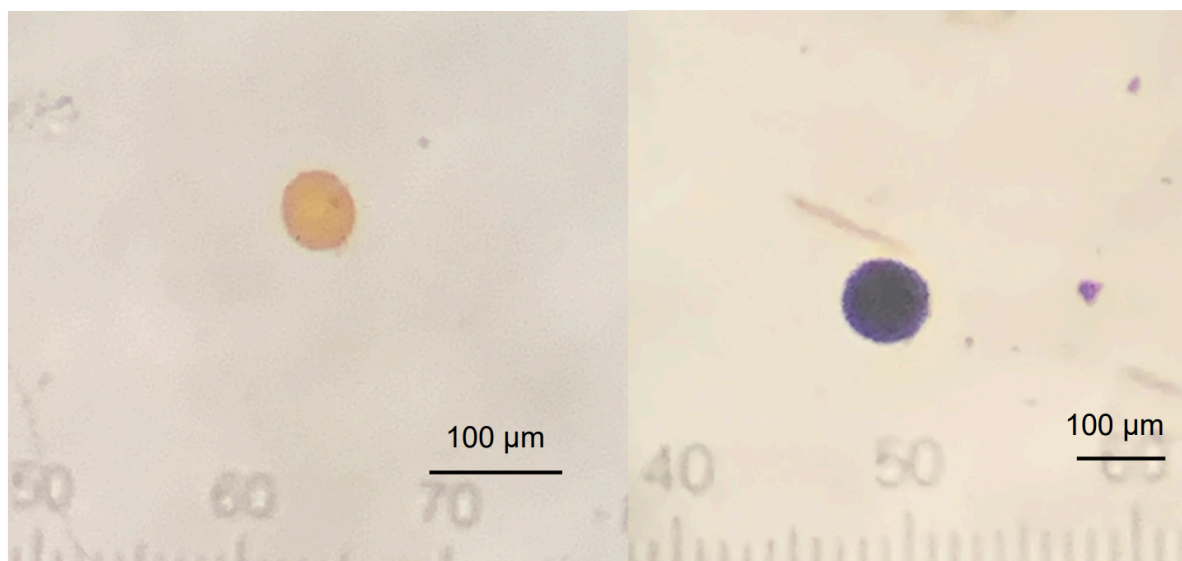


<すごすぎ！ポイント>

植物が自然界で生きるために欠かせないパートナー「菌根菌」。この畑には、菌根菌の孢子が土10グラムあたり約660個いると推定されます。

この畑が1ヘクタールあると、菌根菌資材換算で396億円に相当します！*1

もちろん、畑の土は菌根菌資材ではありませんが、のどかな里山の畑に、東京都内の地価に匹敵するポテンシャルがあると思うとオモシロいですね。



▲abiofarm/パクチー圃場の菌根菌孢子、分析協力:(一財)日本菌根菌財団



▲abiofarmのパクチー

*1 みんな大地が仲介する(一財)日本菌根菌財団の菌根菌資材は、菌根菌孢子1万個で6,000円(税別)。菌根菌が健全に生息する圃場は、菌根菌菌糸による巨大なネットワークが地表下5~15cmに形成される。(参考:菌根菌の種類にもよるが、孢子径100μm以上の大型の孢子は、菌糸長が1m以上になり、各作物個体が繋がって作物の生育が揃う)。土壌の比重を1(参考:好適な土壌の比重は1~1.2程度)と仮定すると、圃地1ヘクタールの10cmの土層の重さは1,000トン。菌根菌の孢子が土壌10gで約660個生息しているため、1ヘクタールあたりでおおよそ660億個の孢子が存在する。

2. 植物と菌、手を取りあって生きる

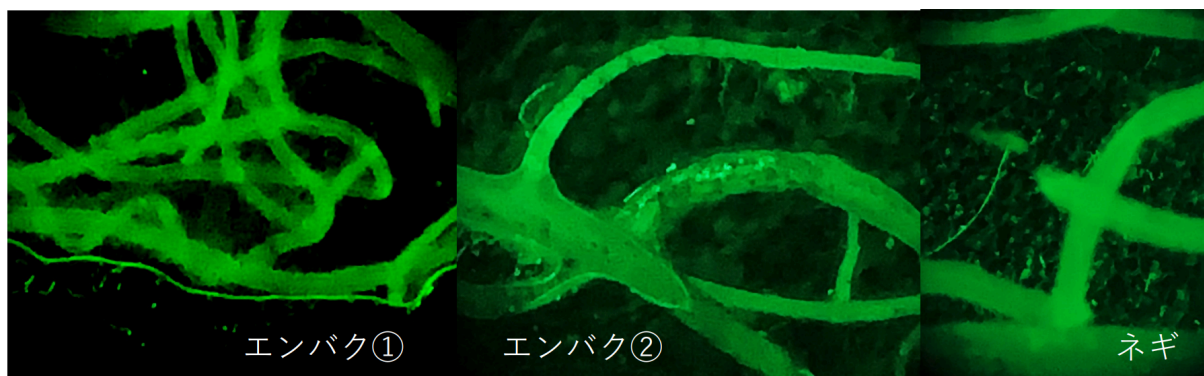
(神奈川県茅ヶ崎市・農園つづく・土壌採取日2025/3/22)



<すごすぎ！ポイント>

こちらは植物の根っこに共生している菌根菌やその孢子、菌糸のみを試薬で光らせた画像。**画像左「エンバク①」はピッカピカ！その共生率はなんと77%もありました。**この数字は、みんな大地が菌根菌調査を行った67カ所の畑のうちNo.1です(2025/5/10現在)。

植物は根っこから菌根菌のエサとなる糖分などを出し、菌根菌は菌糸を伸ばして植物の根っこが届かない範囲の水分や養分を植物に与える、WinWinの関係にあります。共生率が高いということは、この仕組みをよく使えているということです。



▲農園つづくのエンバク(オーツ麦)、ネギの根を試薬で染色した画像
分析協力:(一財)日本菌根菌財団



▲農園つづくのエンバク(オーツ麦)

3. 落ち葉が育んだ微生物多様性

(埼玉県所沢市・陽子ファーム・土壌採取日 2024/10/3)

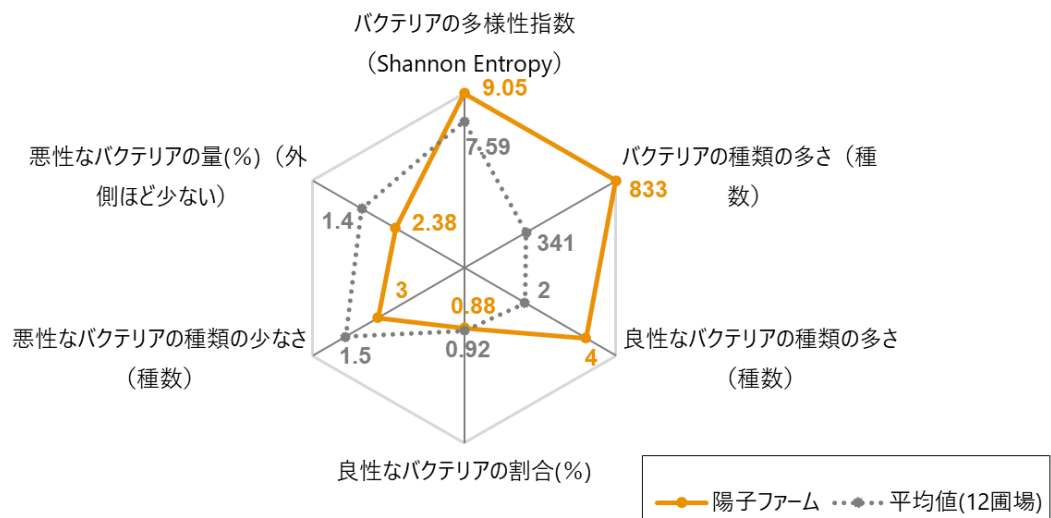


<すごすぎ！ポイント>

世界農業遺産「武蔵野の落ち葉堆肥農法」が生み出す、微生物多様性が豊かな土壌が埼玉県所沢市にありっ！！バクテリアの多様性指数・種類の多さは、レーダーチャートMAX値！*2

しかしこの農法の継続がいま大ピンチ。地域の雑木林がどんどん無くなっているため、落ち葉を集めるのも一苦勞だそう。「武蔵野の落ち葉堆肥農法」を未来につなげる協力者のみなさんをお待ちしています。

土壌バクテリアの多様性／作物の健康に対する影響



▲ 陽子ファーム「土壌バクテリアの多様性／作物の健康に対する影響」レーダーチャート
分析協力: 株式会社BIOTA、レーダーチャート作成: みんな大地



▲ 陽子ファームの落ち葉堆肥

*2 みんな大地が分析対象とした12圃場の平均値と陽子ファームの実績を比較。

4. 耕さない世界平和

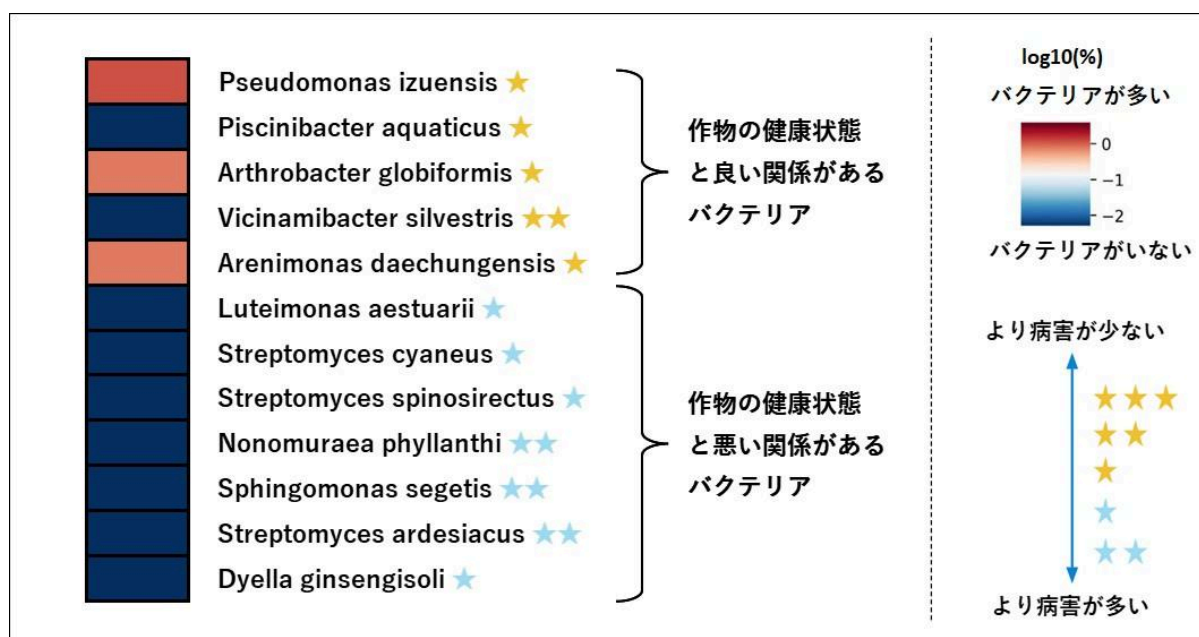
(神奈川県茅ヶ崎市・はちいち農園・土壌採取日 2024/8/19)



<すごすぎ！ポイント>

畑って、耕すのが当たり前だと思っていました。でも最近は「耕さない農業」とか「不耕起栽培」とか「環境再生型農業」なんて言葉を目にします。土を耕さないから、地下の生き物たちが育む土壌世界を破壊しないし、自然循環の中で貯まった二酸化炭素も土壌に固定したままにできる。そして、外敵の侵入も容易ではありません。

そんな農法を行うこの畑には、**なんと病害虫が発生する畑で多く見られるバクテリアがいまぜんっ！**自然の生態系を信じ、手を加えないことで土の力がよみがえったからこそ、実現した世界平和がここに存在します。



▲はちいち農園の「作物の健康状態と関係のあるバクテリア群*3」
分析協力: 株式会社BIOTA



▲はちいち農園の数ある畑の中で今回の結果が出た「テラバタケ」

*3 作物の健康状態に影響を与えるバクテリア群(良性なバクテリア/悪性なバクテリア)は、京大大学生態学研究センターによる文献(Soil prokaryotic and fungal biome structures associated with crop disease status across the Japan Archipelago)に記載された作物の健康状態と良い/悪い関係性を持つ細菌のゲノム配列を、公共データベースから取得することで特定しました。

5.日本が世界に誇る美味しい有機抹茶の育つ場所
(静岡県菊川市・流通サービス(Hattori Tea Farm)・土壌採取日
2024/8/7)



くすすぎ！ポイント>

日本の抹茶はいま、味と健康、両方の側面から海外での需要が高まっていて、生産が追いつかない状況といわれています。そんな中、流通サービス(Hattori Tea Farm)の有機抹茶は、味・香り・成分に加えて、茶畑で太陽光発電を行うソーラーシェアリングに取り組んでいることから、脱炭素に貢献している農業として支持されています。

さらに昨年の土壌診断では、**土壌中の炭素貯留量が地域標準値の約4.5倍！もあることがわかりました。**カーボンファームの観点でも注目が集まりますね。
有機抹茶と脱炭素農業、夢のタッグ！これから支持がどんどん高まっていく、次世代型の農業の姿です。



CO2吸収率が高い



地域の地質標準値の4.49倍でした。この値は1ヘクタールあたり286世帯分の年間CO2排出量を、地質標準値の畑よりも多く貯留しているということです。

炭素貯留量
約4.5倍



地質標準値 工場横



▲流通サービスの数ある畑の中で今回の結果が出た「工場横」

6. 農と放牧で再生する大地

(福島県矢吹町・アグロエコロジー(グリーンシステムコーポレーション)・
土壌採取日 2021/5/8、2024/10/16)



<すごすぎ！ポイント>

ここは、色んな草が生える荒れ地のような状態だった4年前から、驚異のスピードで土壌再生が行われた畑です。その指標のひとつが、土壌中の炭素貯留量(CO2吸収率)。なんと**2021年5月から2024年10月にかけて、約3倍に爆増しました！**

やぶをすきこんだり、牧草を育てたり、たい肥を活用したり、牛さんを放牧することで、有機物が豊かな土壌に回復。営農型太陽光発電(ソーラーシェアリング)が適度な日影を作るから、牛さんたちも快適な場所を見つけて過ごしています。





▲アグロエコロジーの数ある畑の中で今回の結果が出た「福SS123」

まだまだあります！すごすぎ土壌！

みんな大地では、全国の様々な土壌を調査しました。その数127カ所！紹介しきれなかった数々の土壌調査の結果をWEBサイトで公開しています。地質の日に知られざる土壌の魅了に触れてみるのはいかがでしょうか？

■みんな大地の土壌調査結果

<https://daichi.minden.co.jp/shindan/data/>

まだ見ぬ地域の自然資源を、みんなで活かそう

人間をはじめ、地上の動植物が生きていけるのは、目には見えない地下の世界で土壌生物たちが日々働いているおかげです。彼らは誰に頼まれることもなく、分解やエネルギーの循環を黙々と担っています。

たとえ人の手が離れた森林や耕作放棄地でも、地下では土壌生物たちの営みが続いています。

もし私たちがこの地下の世界に目を向け、土壌生物の力を引き出すことができたなら——。たとえば、地域の森林と畑、耕作放棄地と現役の農地とをつなぎ、土の力をシェアすることができたなら。

地域全体が、もっと強く、もっと豊かになるかもしれません。

「自分たちの地域にも、まだ見ぬ可能性があるかもしれない。」
そんなワクワクを感じたら、ぜひ一度、みんな大地にご相談ください。

あなたの地域に眠る、まだ見ぬ自然資源を、一緒に探しに行きましょう。

■みんな大地へのご連絡

株式会社UPDATER みんな大地(担当:高橋)

TEL:03-6805-2228(平日11:00~15:00)

問い合わせ: <https://daichi.minden.co.jp/shindan/contact/>

株式会社UPDATERについて

2021年10月1日にみんな電力株式会社より社名変更。ソーシャル・アップデート・カンパニーとして、法人・個人向けにSXサービスを提供する。独自の特許ブロックチェーン技術を活用し、世界で初めて電カトレサビリティを商用化した再エネ事業「みんな電力」は、国内トップクラスのプラットフォームとなっている。「顔の見えるライフスタイル」の実現のため、ウェルビーイング事業「みんなワークス」、エシカル調達事業「TADORi」などを展開。第4回ジャパンSDGsアワード内閣総理大臣賞、2021年度 NIKKEI 脱炭素アワードにおいてプロジェクト部門大賞など受賞歴多数。

株式会社UPDATER 会社概要

所在地: 東京都世田谷区三軒茶屋2-11-22 サンタワーズセンタービル8F

代表取締役: 大石 英司

設立: 2011年5月25日

資本金: 14億797万8千円(資本準備金:21億4217万8千円) ※2025年3月31日現在

事業内容: 脱炭素事業「みんな電力」ほかウェルビーイング、生物多様性等のSXサービスを展開

コーポレートサイト: <https://www.updater.co.jp/>

■本件に関するお問い合わせ

株式会社UPDATER 戦略広報チーム(豊島・菊川)

TEL:03-6805-2228(平日11:00~15:00)

E-mail: pr@minden.co.jp

